

(株)大和システムクリエート

M&Aで事業領域拡大進める情報産業企業



社長 駒木 慎治
こまき しんじ
1958年7月28日生まれ、青森県出身。2014年入社。2015年1月代表取締役社長就任。
趣味：DIY、花、酒

高度経済成長期の1966年10月、日本の中心・日本橋の地でデータパンチ業務を目的に「(株)大和計算センター」として設立された現・株式会社大和システムクリエートは、日本経済の成長と共に発展。やがて受託システム開発事業へとシフトチェンジし、大手企業を主要クライアントに順調に社歴を刻んできたが、オフショア開発拠点として進出した中国・杭州オフィスの機能不全や、2008年のリーマンショックを契機に収益が悪化。危機感を抱いた当時の経営陣は社外取締役の招聘を要請。14年7月にアドバイザーとして入社し、僅か半年後の15年1月、その手腕を買われて同社初の社外出身の代表に就任したのが、現職の駒木慎治社長だ。

駒木社長は就任初年度から大幅な組織改革に着手。新規案件を扱うソリューション開発部門と営業部門を新設し、業態別部門対応を推進することで、顧客の要望に総合的に対応できる組織再編を実施した。併せて不採算の中国拠点からの撤退を決定、収益性・採算性を劇的に回復させ、就任2年目には過去最高売上を弾き出す。その後も5期連続で増収を達成、見事V字回復を果たした。

事業構造改革の一方で、社員とのコミュニケーションを重視する駒木社長は、若手社員と全管理職との個別面談を実施し、両者間の意識ギャップを洗い出す。その溝を埋めるために管理職の意識改革を図ると共に、若手社員にジョブローテーションを導入し、様々な経験を積む機会を提

供、若手の活性化に繋げた。さらにメンタルヘルスの維持・向上策として前期から(株)ユコラのストレスチェックプログラムを導入。この施策は「携わる人の幸せと未来への夢を創る」もので、管理職、若手社員双方の育成・強化に繋がる。また、チャック・ウィルソン氏が大会実行委員長を務める、メンタル不全や引きこもりの社会復帰支援を目的とした「日本ITチャリティ駅伝」に5年連続で協賛するほか、公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト主催の、若者の夢を応援するプロジェクトへの協賛も開始。夢を持つことを大切にすると会社ならではのチャリティ活動だ。

設立55年目を迎えた1970年代を100年企業に向けての第2創業の期間と位置付ける駒木社長は、M&Aを活用した事業領域の拡大にも積極的だ。既に、1879年にかけて中小IT企業の再創業と発展を目指し「スカイネット(株)」「アップストリームジャパン(株)」の2社のグループ化を実現。国内拠点の分散と連携強化で相乗効果を上げ、A

I事業やIoT事業分野への参入を図る構えだ。さらに19年11月には沖縄のIT技術者を活用したニアショア開発拠点として「(株)リュウズシステム」と資本業務提携を締結。20年1月29日には、オフコンツールに強みを持つ鳥取県の「(株)コンピュータ・サービス」と資本提携を果たした。中小零細企業の連携による、大手には真似の出来ない「100年情報産業企業」への布石を着々と固め、将来を見据えた盤石な基盤構築への助走を開始している。

会社データ

本社所在地 東京都中央区日本橋3-14-1
新々会館
電話番号 03(3275)2521
設立年月 1966年10月
資本金 5000万円
事業内容 システムコンサル、ソフトウェア開発等
ホームページ <https://www.daiwa-sc.co.jp>